

水難事故想定 着衣泳の訓練

福山・西深津小

水難事故を想定し、普段着のままプールに入る着衣泳の訓練が27日、福山市立西深津小学校(同市西深津町5)



で行われた。写真。

着衣泳の正しい知識を付けてもらおうと西深津水泳教室が主催。講師の県東部スイミング財団、丸山隆さん

(44)は「川や海でおぼれたら、自力で岸へたどり着こうとするよりも、救助が来るまで浮いたまま呼吸を保つことが重要」と指導。児童らは水着と普段着の二通りでプールに入り、普段着が吸水して重くなるのを体感。力を抜いて大の字になったり、空のペットボトルやふくらませたごみ袋を抱いたりし、全身を浮かせる練習をした。

市立三吉保育所の桑田紗希ちゃん(5)は「まだ全然泳げないけど浮けた。水が怖くなくなった」とにっこり。同小5年、小林千晶さん(11)は「やってみると簡単。友達にも教えてあげたい」と話した。

2009年(平成21年)6月28日